

# 経済・金融概況

## [英国]

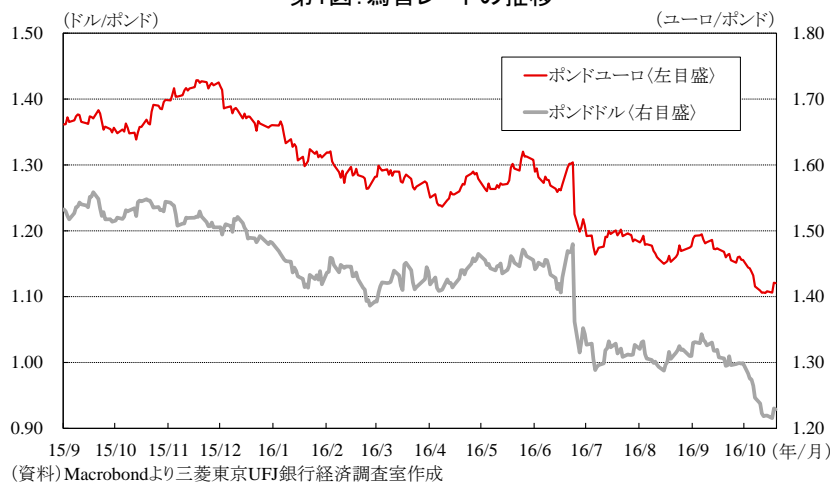
### 1. 概況

英国景気は今のところ失速を回避しているが、足元では英国の EU 離脱が甚大な経済的コストを伴う「ハード・ブレグジット」に向かっているとの懸念の強まりからポンドが急落するなど、先行き不透明感が強まっている。

経済指標を概観すると、国民投票直後の 7 月に大きく下振れした消費者・企業マインドはその後持ち直しが見られる。製造業とサービス業の購買担当者指数（PMI）をみると、8・9 月は連続で企業活動の拡大を示したほか、建設業 PMI も 4 ヶ月ぶりに拡大・縮小の分岐点である 50 を上回った。ただし、EU 離脱の具体的な道筋が定まらない中で企業の投資意欲は慎重化している。英商工会議所の製造業業況感調査（調査期間：8 月 22 日～9 月 12 日）では設備投資見通しが大幅に低下し、今後の企業投資低迷の可能性を示唆した。

9 月のインフレ率は 2 年ぶりに 1% 台まで上昇したが、先行きポンド安による輸入物価上昇の影響波及が予想されることから、インフレ圧力は今後更に強まる公算が大きい。10 月初頭に行われた保守党の秋の党大会において、メイ首相は来年 3 月までに EU に離脱を通告すること、また交渉にあたっては自由貿易の維持に最大限の努力を行うとしつつも、人の移動の自由は受け入れない方向であることを明らかにした。これにより、英国が「ハード・ブレグジット」へ傾きつつあるという見方が広がりポンドは急落した（第 1 図）。6 月の国民投票以降の対ドルでの下げ幅は足元までに約 18% まで拡大している。個人消費は、今まで低インフレと雇用環境の改善に支えられてきたが、今後はポンド安によるインフレ上昇と EU 離脱を巡る先行き不安の高まりを受けた企業の雇用意欲の慎重化が予想されることから、逆風が強まる公算が大きい。

第1図：為替レートの推移



## 2. 生産

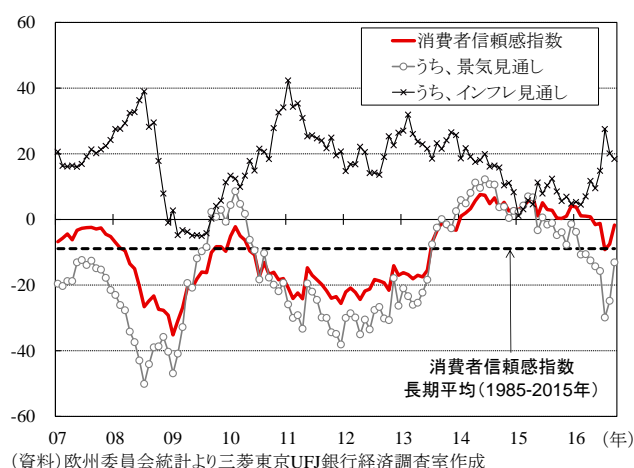
8月の鉱工業生産は前月比▲0.4%となった。内訳をみると、製造業は同+0.2%とプラスの伸びに転じ（7月は同▲0.9%）、鉱業は前月の大幅な伸び（同+8.3%）からの反動減もあり、同▲4.4%に落ち込んだ。一方、9月の製造業PMIは55.4と2年ぶりの高水準に上昇した。内訳を見ると、輸出受注の大幅な伸びが新規受注全体を押し上げており、今後しばらくは生産が底堅く推移する可能性を示唆した。

## 3. 雇用、消費、消費者心理

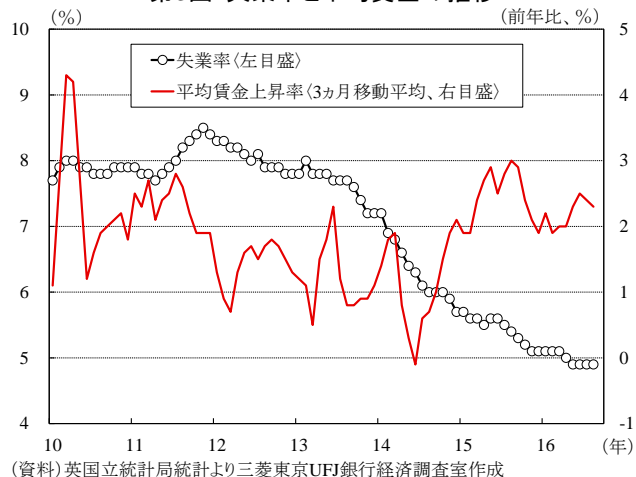
7～9月期の小売売上は前期比+1.8%となり、前期の同+1.1%から加速した。ただしこれは7月の強い伸び（前月比+2.0%）による押し上げが大きく、8・9月は2ヵ月連続で前月比横ばいに止まった。9月の消費者信頼感指数は▲1.7となり、国民投票直後の7月の▲9.2から大きく持ち直した（第2図）。内訳をみると、国民投票直後のポンド急落を受けて7月に急上昇したインフレ期待が若干低下した。ただし、10月以降のポンドの一段安を鑑みると、インフレ期待は今後再上昇する公算が大きく、EU離脱を巡る不透明感の高まりと合わせ、消費者マインドを下押ししていくと考えられる。

雇用情勢を見ると、6～8月期の雇用者数は3～5月期から10.6万人の増加となり、前期（前期比17.3万人増）に比べて増加ペースが鈍化した。一方、失業率は年央以降4.9%で横ばいが続いている（第3図）。8月の平均賃金上昇率（3ヵ月移動平均、ボーナス含む）は前月の前年比+2.4%から同+2.3%に減速した。

第2図：消費者信頼感指数の推移



第3図：失業率と平均賃金の推移

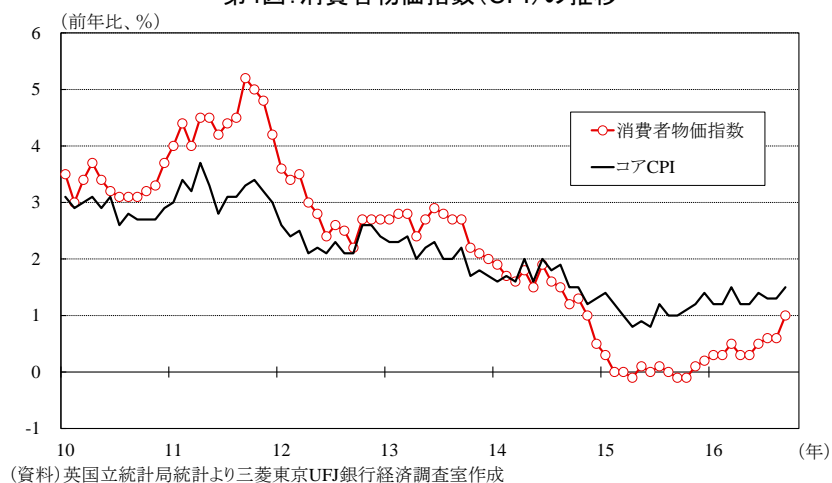


## 4. 物価

9月の消費者物価指数（CPI）は前年比+1.0%となり、前月の同+0.6%から加速した（第4図）。内訳を見ると、食料品・非アルコール飲料は同▲2.2%となり、引き続き全体を下押しした。一方、押し上げ要因となったのは衣料品（同+1.1%）で、特に女性衣料品における夏のセール後の価格引き上げ幅が前年よりも大きかったことが影響した。ま

た、ホテル宿泊費やガソリン価格の上昇も全体を押し上げた。食品やエネルギーなどを除いたコア CPI は前月の同+1.3%から同+1.5%に加速した。

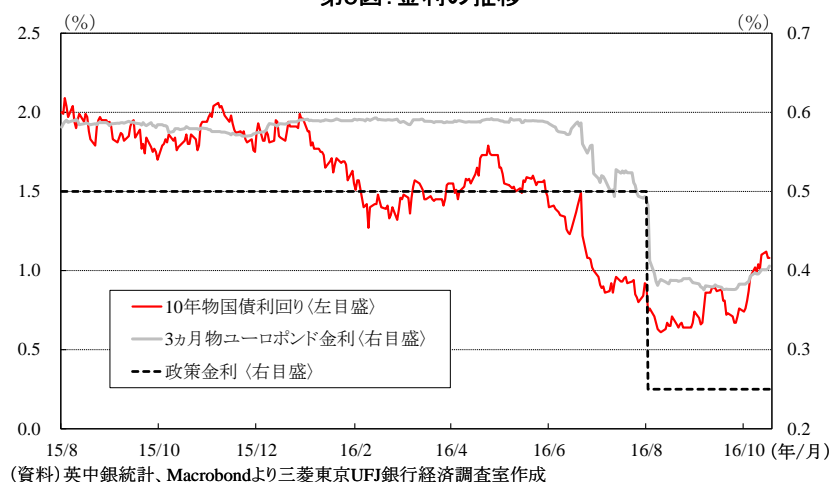
第4図: 消費者物価指数(CPI)の推移



## 5. 金融政策

9月のイングランド銀行（中央銀行、BOE）の金融政策委員会（MPC）では、景気は予想以上に力強さを示しているとしつつも、今後大きく減速していくという見方は崩さず、年内にも追加利下げが実施される可能性が示された。インフレ率はポンドの大幅下落を受けて来年の早い段階で BOE のインフレ目標である 2%を上回るとの観測が強まっているが、カーニー総裁は成長と雇用支援のためにはインフレ率が目標をある程度上回ることを容認する考えを明らかにした。一方、追加緩和のタイミングについては、11月3日の MPC で決定される可能性は低いとの見方も出てきている。これは 11月23日の秋の予算編成発表で政府の財政出動の詳細が明らかにされるためである。この内容と直近の経済データを踏まえたうえで 12月15日の MPC、もしくは 2017年の1回目の開催となる 2月2日の MPC で追加緩和の必要性を判断する可能性もあろう。

第5図: 金利の推移



## 英国主要経済指標

①年、四半期

	2013	2014	2015	2015/Q3	Q4	2016/Q1	Q2	Q3
実質GDP成長率*	1.9	3.1	2.2	0.3	0.7	0.4	0.7	-
				1.9	1.7	1.9	2.1	-
実質企業投資	2.6	3.9	5.1	1.7	▲ 2.4	▲ 1.1	1.0	-
				6.2	1.8	▲ 1.9	▲ 0.8	-
鉱工業生産*	▲ 0.7	1.5	1.3	0.1	▲ 0.4	▲ 0.1	2.1	-
				1.4	0.8	0.2	1.6	-
製造業	▲ 1.0	2.9	▲ 0.1	▲ 0.4	0.1	▲ 0.3	1.6	-
				▲ 0.6	▲ 0.8	▲ 1.1	1.0	-
信頼感指数*	▲ 2.0	7.2	0.0	▲ 1.1	▲ 5.5	▲ 6.0	▲ 2.2	▲ 2.3
消費者	▲ 10.1	4.4	3.1	2.1	1.8	2.0	▲ 0.7	▲ 6.1
小売売上数量*	1.3	3.9	4.3	0.8	1.0	1.4	1.1	1.8
				4.7	3.5	4.2	4.4	5.4
失業者数	1,421.8	1,037.1	798.7	791.6	782.6	742.3	767.7	773.6
(失業保険へ入る)*								
	▲ 10.3	▲ 27.1	▲ 23.0	▲ 0.9	▲ 1.1	▲ 5.1	3.4	0.8
失業率*	4.3	3.0	2.3	2.3	2.2	2.2	2.2	2.3
	7.6	6.2	5.4	5.3	5.1	5.1	4.9	-
平均賃金収入*	1.2	1.2	2.4	2.9	1.9	2.0	2.5	-
(ボーナス含む)								
生産者価格	1.3	▲ 0.0	▲ 1.7	▲ 0.5	▲ 0.6	▲ 0.1	0.9	0.7
				▲ 1.8	▲ 1.5	▲ 1.0	▲ 0.4	0.8
原材料投入価格	1.2	▲ 6.6	▲ 12.8	▲ 5.0	▲ 1.8	▲ 1.2	4.1	5.4
				▲ 13.6	▲ 12.0	▲ 7.6	▲ 4.1	6.4
小売物価	2.6	1.5	0.0	0.1	0.1	▲ 0.5	0.6	0.5
				0.0	0.1	0.4	0.4	0.7
消費者物価(CPI)	3.0	2.4	1.0	259.3	260.0	260.0	262.2	264.2
総合指数(RPI)				0.9	1.0	1.4	1.4	1.9
住宅ローン金利を除く(RPIX)	3.1	2.4	1.0	0.4	0.2	0.0	0.9	0.9
				1.0	1.1	1.4	1.6	2.0
住宅価格	4.7	8.8	8.9	2.5	1.8	2.8	1.1	▲ 0.1
				8.7	9.5	10.0	8.4	5.8
財輸出金額	303,147	292,894	283,282	69,462	68,681	71,135	73,713	-
	0.5	▲ 3.4	▲ 3.3	▲ 4.0	▲ 7.2	▲ 0.4	▲ 0.1	-
対EU28カ国	151,256	145,472	133,957	33,413	32,765	33,343	35,318	-
	0.4	▲ 3.8	▲ 7.9	▲ 6.5	▲ 7.5	▲ 0.5	3.0	-
財輸入金額	423,811	415,469	409,719	100,176	102,035	103,987	108,371	-
	2.7	▲ 2.0	▲ 1.4	▲ 3.2	▲ 4.7	▲ 1.4	6.2	-
対EU28カ国	220,664	224,734	222,912	54,720	55,782	57,271	58,716	-
	5.6	1.8	▲ 0.8	▲ 2.4	▲ 2.0	1.1	5.3	-
財貿易収支	▲ 120,664	▲ 122,575	▲ 126,437	▲ 30,714	▲ 33,354	▲ 32,852	▲ 34,658	-
	▲ 69,408	▲ 79,262	▲ 88,955	▲ 21,307	▲ 23,017	▲ 23,928	▲ 23,398	-
経常収支*	▲ 76,442	▲ 84,998	▲ 100,167	▲ 20,490	▲ 32,741	▲ 26,999	▲ 28,684	-
通貨供給量*	0.2	▲ 1.1	0.3	▲ 0.6	0.3	1.5	3.6	-
M4 : (前年比、%)								
公共部門所要借入額 (PSNCR)	16,938	23,231	8,632	15,401	8,632	16,463	11,823	-
外貨準備(金を除く)	92.4	95.7	119.0	118.9	119.0	125.2	128.7	-
(10億米ドル)								
政策金利	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.25
(%)								
ユーロ・ポンド金利(3ヵ月物)	0.51	0.54	0.57	0.58	0.58	0.59	0.58	0.43
(%)								
国債利回り(10年物)	2.36	2.53	1.83	1.94	1.88	1.54	1.50	0.79
(%)								
米ドル/ポンド為替相場	1.565	1.648	1.528	1.549	1.517	1.431	1.435	1.313
ポンド/ユーロ為替相場	0.849	0.806	0.726	0.718	0.722	0.771	0.787	0.850
円/ポンド為替相場	152.58	174.33	184.92	189.18	184.10	164.84	154.77	134.35
ポンド実効相場**	81.44	86.98	91.43	92.87	92.14	86.99	85.48	78.72

(注) 特記なき限り上段は前期比、下段は前年比。外貨準備、通貨供給量については月末値、金利はレボ金利が期末値、

その他が期中平均値。\*印は季調値。失業率=失業者数/自営を含む就業者数。

信頼感指数については、欧州委員会発表。\*\* 2005年=100

(資料) 英国立統計局 他

## 英国主要経済指標

### ②月次

		2016/02	3	4	5	6	7	8	9
実質GDP成長率*		データは四半期のみ							
		▲ 0.1	0.5	2.3	▲ 0.7	0.0	0.1	▲ 0.4	-
鉱工業生産*		0.1	0.1	2.2	1.2	1.4	2.1	0.7	-
	製造業	▲ 0.8	0.1	2.3	▲ 0.7	▲ 0.2	▲ 0.9	0.2	-
信頼感指数*	製造業	▲ 1.5	▲ 1.7	1.1	1.1	0.6	0.7	0.5	-
	消費者	▲ 8.8	▲ 4.4	▲ 6.4	▲ 1.4	1.3	▲ 2.6	▲ 1.8	▲ 2.4
小売売上数量*		▲ 0.5	▲ 0.3	1.1	1.1	▲ 0.8	2.0	0.0	0.0
失業者数 (千人)		734.6	751.2	759.6	771.3	772.2	768.6	775.7	776.4
(失業保険への入会) *		(前年比、%)	2.3	1.1	1.5	0.1	▲ 0.5	0.9	0.1
失業率*		(失業保険基準、%)	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.3	2.3
		(ILO基準、%)	5.1	5.1	5.0	4.9	4.9	4.9	-
平均賃金収入*		(前年比、%)	1.3	2.0	2.6	2.3	2.5	2.4	2.0
(ボーナス含む)		(3ヵ月平均 前年同期比、%)	1.9	2.0	2.0	2.3	2.5	2.4	2.3
生産者価格	工業品産出価格	0.1	0.5	0.4	0.1	0.3	0.4	0.1	0.2
		▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 0.5	▲ 0.5	▲ 0.2	0.4	0.9	1.2
	原燃料投入価格	0.4	1.7	0.8	2.3	1.7	3.3	0.2	0.0
物価	消費者物価(CPI)	▲ 8.0	▲ 6.6	▲ 7.1	▲ 4.3	▲ 0.5	4.3	7.8	7.2
		0.2	0.4	0.1	0.2	0.2	▲ 0.1	0.3	0.2
	総合指数(RPI)	0.3	0.5	0.3	0.3	0.5	0.6	0.6	1.0
		0.5	0.4	0.1	0.3	0.4	0.1	0.4	0.2
住宅価格	住宅ローン金利を除く(RPIX)	1.3	1.6	1.3	1.4	1.6	1.9	1.8	2.0
		0.5	0.4	0.1	0.3	0.4	0.1	0.5	0.2
		1.4	1.6	1.4	1.5	1.7	1.9	1.9	2.2
財輸出金額	世界計 (百万ポンド)	▲ 1.5	2.2	▲ 0.8	0.9	1.2	▲ 1.1	▲ 0.3	0.1
	(前年比、%)	9.7	10.0	9.2	9.2	8.4	8.4	6.9	5.8
財輸入金額	世界計 (百万ポンド)	23,344	24,906	25,954	23,762	23,997	25,732	25,783	-
	(前年比、%)	0.3	3.9	7.4	▲ 5.3	▲ 2.0	14.5	10.6	-
財貿易収支	世界計 (百万ポンド)	11,259	11,191	12,182	11,639	11,497	12,492	12,417	-
	(前年比、%)	0.4	0.9	10.4	▲ 0.6	▲ 0.3	14.8	8.1	-
経常収支*	世界計 (百万ポンド)	34,576	34,377	36,333	35,121	36,917	35,238	37,895	-
	(前年比、%)	▲ 1.1	▲ 1.6	6.4	3.7	8.5	4.2	13.0	-
通貨供給量*	世界計 (百万ポンド)	19,416	19,076	19,574	19,426	19,716	19,774	20,773	-
	(前年比、%)	1.3	1.1	5.9	4.2	5.9	9.8	12.6	-
公共部門所要借入額 (PSNCR)	世界計 (百万ポンド)	▲ 11,232	▲ 9,471	▲ 10,379	▲ 11,359	▲ 12,920	▲ 9,506	▲ 12,112	-
	(前年比、%)	▲ 8,157	▲ 7,885	▲ 7,392	▲ 7,787	▲ 8,219	▲ 7,576	-	-
通貨供給量*		データは四半期のみ							
M4 : (前年比、%)		2.1	1.5	1.0	1.8	3.6	3.9	5.4	-
外貨準備(金を除く)		263.0	16,463.0	▲ 4,935	2,607	11,823	▲ 2,437	727	-
(10億米ドル)		120.7	125.2	129.9	126.6	128.7	132.3	132.1	-
政策金利 (%)		0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.25	0.25
ユーロ・ポンド金利 (3ヵ月物) (%)		0.59	0.59	0.59	0.59	0.57	0.51	0.41	0.38
国債利回り(10年物) (%)		1.43	1.47	1.61	1.57	1.31	0.91	0.69	0.77
米ドル/ポンド為替相場		1.430	1.424	1.431	1.453	1.421	1.314	1.310	1.314
ポンド/ユーロ為替相場		0.776	0.782	0.792	0.778	0.791	0.842	0.856	0.853
円/ポンド為替相場		163.84	160.82	156.81	158.26	149.44	136.83	132.58	133.84
ポンド実効相場**		86.72	85.72	84.88	86.64	84.90	79.33	78.28	78.60

(注) 特記なき限り上段は前月比、下段は前年比。

\*印は季調値。失業率=失業者数/自営を含む就業者数。信頼感指数については欧州委員会発表。

\*\* 2005年=100 外貨準備、通貨供給量については月末値、金利はレボ金利が月末値、その他は期中平均値。

(資料) 英国元統計局 他

照会先：三菱東京UFJ銀行 経済調査室 ダーベル 暁子 akiko.darvell@uk.mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。